第11回　日野川水害タイムライン検討会

令和6年12月4日(水)
国土交通省　日野川河川事務所（10:00～11:40）

-次第-
1.開会挨拶
2. 令和6年度の振り返り
3.事前アンケート結果
4.タイムラインの改善に向けた意見交換
5.連絡事項
6.質疑応答
7.講評
8.閉会

令和6年度の出水対応を振返り、タイムラインをブラッシュアップすることを目的として、第11回検討会を開催しました。

◆参加機関（10機関）

米子市	防災安全課、上下水道局
鳥取県	河川課、西部広域行政管理組合消防局
福祉施設	なんぶ幸朋苑、よなご大平園
ライフライン	中国電力ネットワーク㈱
通信インフラ	NTT西日本㈱
気象庁	鳥取地方気象台
国土交通省	日野川河川事務所

<検討会の様子>

◆令和6年度出水期の振り返り

- 日野川河川事務所より、**令和6年度出水期におけるタイムライン発動状況**を説明した。
- 鳥取地方気象台より、日野川で今年一番の大雨となった**11/2の大雨の際の気象状況**や、**今後の気候変動による影響の可能性**について説明した。

<タイムラインの発動状況>

	期間	要因	レベル到達
①	8/23～9/2	台風10号	レベル2
②	11/1～11/3	台風から変わった低気圧や前線の影響	レベル2

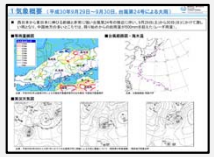
◆タイムラインの改善に向けた意見交換

・**令和6年度の取組状況**や**出水期振り返りアンケート結果**を踏まえて、**タイムラインの改善に向けた意見交換**を実施した。

令和6年度の取組状況

危機感共有定例会

- 台風期の各月に1回、顔の見える関係作りや出水に対する危機感共有を目的に定例開催。

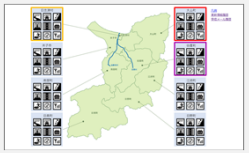


ウェビナー

- タイムラインについて平時から理解を深めることを目的として台風期の頭に開催。

情報提供システム流域一元画面

- 流域全体の状況を俯瞰的かつ一元的に把握することを目的として台風期に試行運用。



設問	アンケート結果まとめ	アンケート結果を踏まえた意見交換テーマ	意見交換概要
今年度の出水対応	✓ 出水期中の台風第10号では、**実対応が必要な状況にはならなかった**。	✓ **出水期後に大雨**（11/1～11/3）が発生したため、**当時の出水対応状況や課題**について意見交換	✓ 当時は、**水防警報や高齢者等避難**が発表される状況。 ✓ **レベル到達の見通し**がメールで共有されると**事前対応に役立つ**。
タイムライン活用状況	✓ 多くの機関が**ﾀｲﾑﾗｲﾝ発動・移行時のメールが役立った**と回答した一方で、出水時は**メールが埋もれる**との意見。	✓ **メールが埋もれる**との意見を踏まえて、**メールで受信した情報の整理**や、**発信側の工夫点**を共有	✓ ﾀｲﾑﾗｲﾝのメールは**状況把握の参考**として活用。 ✓ メールでは、**件名へのレベル表記**等、**視覚的に状況を把握**できるよう工夫。
効果的な運用に向けた取組	✓ 危機感共有定例会、ウェビナーは参加機関の**7～8割が役立った**と回答。 ✓ **日程やWeb会議の都合で参加できなかった**との機関もあり。	✓ 有効性が確認できた危機感共有定例会、ウェビナーを**令和7年度以降も継続的に運用**するため、より**効果的な開催方法**を意見交換	✓ Web会議で**カメラを全機関オン**にして、**顔の見える関係**が構築できると有効。 ✓ **意見交換を活発に行う**ため、各機関からの**情報提供テーマ**を設けることを提案。
情報提供システム	✓ **約4割の機関が利用**し、**役立った**と回答した一方で、**流域一元画面**のことは**知らなかった**との意見。	✓ 有効性が確認できた**流域一元画面の活用を促進**するため、**台風10号における再現画面**を踏まえて意見交換	✓ 今年の出水期は使う場面が無かったが、**流域の情報を一元的に閲覧**できて有効。

◆講評

➢振り返りアンケートの結果を踏まえて、次の改善に活かすことができたと思う。
➢危機感共有定例会やウェビナーの効果が確認出来て良かった。ご意見を踏まえて改善し、来年度も継続していただきたい。
➢情報共有については、発信側・受信側それぞれが効率的な方法を模索してほしい。

鳥取大学 三輪座長

◆まとめ

- 令和7年度により使いやすいタイムラインへと改善するため、各機関におけるタイムラインに関する取組状況や改善要望を抽出した。
- タイムラインや情報提供システムの更なる活用に向けてタイムライン事務局で改善策を整理し、引き続きブラッシュアップを図る。